

## 令和2年度第3回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和3年2月12日（金） 午前10時00分～午前11時15分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5名）

伊 藤 由美子（委員長）

藤 田 素 弘（副委員長）

赤 木 邦 男

佐 藤 久 善

小 寺 直 美

事務局（7名）

松 岡 孝 幸（総務部 部長）

大 原 満千子（総務部 契約監理課 課長）

種 村 悟（総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）

蒔 田 宏 之（総務部 契約監理課 課長補佐兼契約調達係長）

山 本 大 介（総務部 契約監理課 契約調達係）

満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）

亀 永 ま こ（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（10名）

大 屋 寅 一（市長公室 ブランド推進課 市民会館 館長）

川 渕 英 樹（市長公室 ブランド推進課 市民会館 館長補佐）

栗 原 繁 憲（都市整備部 桑名駅西整備事務所 所長）

中 村 誓 章（都市整備部 桑名駅西整備事務所 所長補佐兼計画・工務係長）

加 藤 文 人（上下水道部 水道課 課長）

城 田 一（上下水道部 水道課 課長補佐兼施設係長）

出 口 敏 幸（上下水道部 下水道課 課長）

野 澤 吉 広（上下水道部 下水道課 下水道係）

佐 藤 良 治（都市整備部 次長兼土木課 課長）

小 林 信 幸（都市整備部 土木課 課長補佐兼建設係長）

## 事 項

### 1 開 会

#### 【事務局】

本日は、ご多忙の中、ご出席賜りまことにありがとうございます。

令和2年度第3回入札監視委員会を開催させていただきます。

最初に総務部長からご挨拶申し上げます。

**【事務局】**

おはようございます。総務部長の松岡でございます。本日は令和2年度第3回桑名市入札監視委員会を開催させていただきましたところ、委員各位におかれましてはご多忙の中、また新型コロナウイルス感染の状況もある中、全員の方にご参加をいただきましてまことにありがとうございます。

新年度を控えまして、間もなく桑名市議会の3月定例会も開催される運びでございます。3月定例会と申しますと、令和3年度の当初予算案などをご審議いただく場でございますが、令和3年度の桑名市の当初予算では、ウィズコロナ、アフターコロナが同時に進む社会の大きな変化の中で、進化を続ける持続可能なまちづくりを目指し、防災力の強化、スマート自治体への転換、安定した財政基盤の確立の3本の柱を中心に様々な事業を展開していきます。

中でも多世代共生型施設「(仮称)福祉ヴィレッジ」や、多度地区小中一貫校の整備、また長島町伊曾島地区での津波避難施設の整備など、今後大型な建設事業が進捗をして行く中で、契約行為等につきましても十分に注意を払いながら進めてまいりたいと考えております。

また、注目を集めておりますが、コロナワクチン接種につきましては、本市におきましても1月7日にコロナワクチン接種課を新たに設置しまして、現在急ピッチで準備作業を進めているところでございます。今月下旬に国立病院機構の医療従事者様向けの先行接種が開始され、4月以降に高齢者様向けの優先接種の後、一般の皆様にも順次接種が開始される見込みでございます。これにつきましては国の動向等を的確に捉えまして、可能な限り早期に接種ができ、皆様に安心していただけるよう努めてまいります。

本日は入札契約手続きの運用状況の他、5件の抽出事案についてご審議をいただきます。委員の皆様のご意見を基に適切な入札及び契約手続きを進めますとともに、契約内容の透明性をより高め、公正な競争性を確保していくよう努めていく所存でございます。委員の皆様におかれましては様々な観点からご意見、ご提言をいただきますようお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

**【事務局】**

本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

**【委員長】**

委員の皆様におかれましては、御多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。

先程、総務部長もお話されたように、コロナの影響というのは現在も止まらず、様々な対応策が求められているところだと思います。

入札の案件に関しましても、通常発生することの他にコロナへの対応について様々なことが

出てくるのではないかと思います。

また、最近、デジタルトランスフォーメーションという言葉が頻繁に見聞きするようになりました。様々なことが電子化されていく流れになると思います。

入札の制度につきましても、この先どのように変化していくのかを注視しながら、監視委員会としても案件に対して適切なのか、あるいはどのような制度が適切なのか、委員の立場から意見や提言ができていくと良いのではないかと考えております。現在、時代の大きな変化の流れの中にある状況にあると思います。委員の皆様の意見が行政のお役に立つようになれば良いと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

**【事務局】**

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行をしていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

**【委員長】**

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議は一般公開としております。これ以降の審議につきまして、傍聴を希望される方がみえますので、許可したいと思いますのでよろしいでしょうか。

それでは傍聴人入場のためしばらくお待ちください。

〔傍聴人入場〕

傍聴の皆様お待たせいたしました。

本委員会での写真、映像につきましては頭出し部分に限らせていただきますのでよろしくお願いいたします。

## **2 議 事**

### **(1) 入札及び契約手続きの運用状況について**

**【委員長】**

それでは早速審議に入りたいと思います。

議事（１）「入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いいたします。

**【事務局】**

おはようございます。事務局の蒔田です。着座にて説明させていただきます。

それでは、（１）入札及び契約手続きの運用状況について説明いたします。

資料の１ページをご覧ください。

①指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります令和２年９月から１２月までの４ヶ月の間に指名停止を講じました件数は３件となっております。３件とも三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じたものでございます。

次に談合情報でございますが対象期間において寄せられた情報はございませんでした。  
説明は以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は必ずマイクを使用していただきますようお願いいたします。

続きまして、議事（２）「抽出事案の審議について」の項目に移りたいと思います。

審議に先立ちまして抽出案件５件について説明を得るため入札監視委員会条例第６条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔全委員が了承する。〕

それでは、関係者の方々の出席を求めます。

〔関係職員の入室〕

審議にあたり、今回の５件の抽出理由について、佐藤委員から説明をお願いします。

（２）抽出事案の審議について

【委員】

おはようございます。

今回の抽出の担当をさせていただきました佐藤と申します。よろしくお願いいたします。

NTN シティホール大ホールほか舞台音響設備改修工事につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、発注金額が高額であることと応札業者の数が少ないためこと。

蛸塚益生線他道路設備工事（令和２年度）につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、発注金額が高額であることと全者同額入札であること。

大山田東配水場電気設備更新工事につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、応札業者の数が少ないこと。

西桑名幹線雨水管路施設工事（推進工）につきましては、事後審査型条件付一般競争入札で、発注金額が高額であること。

橋梁長寿命化修繕設計積算業務委託（横手橋他）につきましては、随意契約であること随意契約理由にする理由が不明確であること。

以上の理由により抽出いたしました。

抽出事案 １ NTN シティホール大ホールほか舞台音響設備改修工事

【委員長】

それでは第1案件「NTN シティホール大ホールほか舞台音響設備改修工事」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と見積経過について説明をお願いいたします。

#### 【ブランド推進課】

おはようございます。ブランド推進課市民会館館長の古屋でございます。よろしくお願いいたします。着座にてご説明させていただきます。

それでは、工事概要の説明をさせていただきます。

件名は、NTN シティホール大ホールほか舞台音響設備改修工事、予算額1億8,700万円、設計額1億7,860万7,000円、履行期間は、令和2年12月28日から令和4年2月28日まで、履行場所は、桑名市中央町地内、工事概要は、平成12年度に全面改修を行い平成19年度のNTN シティホールリニューアル時に未改修であった音響設備の改修に併せまして、電波法施行規則等の一部改正に伴い、音響及び無線の各設備について改修をするものであります。

以上でございます。

#### 【事務局】

事務局の蒔田でございます。

続きまして、発注公告及び入札経過について説明いたします。

資料の5ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札で低入札価格調査制度対象案件です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、特定の電気通信工事業の許可業者であること、所在地は、全ての業者を対象とし、経審点数は市内業者450点以上、準市内業者1,000点以上、県内業者1,100点以上、県外業者1,100点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること、同種工事施工実績等は、平成17年度以降、官公庁が発注した案件で有線電気通信工事又は無線電気通信工事の施工実績を有すること、平成17年度以降、1,300人以上のホールのデジタルミキサーを含むデジタルオーディオネットワークシステム音響設備改築の施工実績を有すること、技術者要件として、現場代理人及び監理技術者の配置を求め、低入札価格で契約を締結する場合、上記技術者の他に監理技術者に求める資格を有する者を専任の技術者として1名追加配置することとしております。

また、その他要件として、平成29年度以降、官公庁が発注した案件で、固有座席1,300人以上のホール舞台音響設備保守点検の受託実績を2件以上有すること。以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、7ページをご覧ください。

令和2年9月30日に開札を行いましたところ、1者から応札があり、その1者であるヤマハサウンドシステム株式会社名古屋営業所が調査基準価格以上予定価格以内の範囲で応札したため、当該業者を落札候補としました。

その後、入札参加資格を審査した結果、適格であったため、当該業者を落札者に決定し、税抜き1億4,938万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問、ご意見等はございませんか。

【委員】

平成 12 年度に全面改修を行ったときに音響設備等を設置したのも今回の業者でしょうか。また、このような 1,300 人以上のホール等の大規模な音響設備の改修工事ができる業者はこの業者しかないのでしょうか。

【ブランド推進課】

現在の音響設備は不二音響というメーカーのもので、不二音響につきましては、平成 12 年度に改修した時には、全国のホール等の音響設備の改修工事の 8 割以上に携わっていました。その後、今から 15 年ほど前に今回の落札業者と不二音響が合併をしました。

次に今回の設計につきましては 5 者に見積依頼をしまして、最低価格の見積書を参考に設計をしております。参考までに申し上げますと、最低価格の見積書を提出した業者と落札業者とは異なっております。

【委員】

今の説明ですと最低価格の見積書を提出した業者は応札してこなかったということですか。

【ブランド推進課】

そうです。

【委員】

見積価格は適正だったのでしょうか。好意的に価格を下げて見積書を提出したということとはないのですか。

【ブランド推進課】

地域要件を設けず、すべての業者を対象とし、他市町の同等の施設における同様の改修工事の入札参加資格等を参考にしながら入札を執行しました。見積徴収時も 5 者程度の応札があると見込んでいたのですが、結果として 1 者のみの応札となりました。

【委員長】

ありがとうございました。他に質問ご意見ございませんか。

【委員】

今のお話だと、ヤマハサウンドシステム株式会社は、設計時に依頼した見積価格よりも低い価格で応札したということですか。

【ブランド推進課】

見積の最低価格の 8 割で設計しております。最低価格につきましてはヤマハサウンドシステム株式会社ではありません。

【委員長】

他にご質問、ご意見ございませんか。

大型の案件ということではありますが、特に問題無いようですのでこの案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。

## 抽出事案 2 蛸塚益生線他道路設備工事（令和２年度）

### 【委員長】

それでは次に第２案件「蛸塚益生線他道路整備工事（令和２年度）」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

### 【桑名駅西整備事務所】

桑名駅西整備事務所の栗原と申します。よろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

それでは工事概要の説明をさせていただきます。

資料８ページをご覧ください。

件名は、蛸塚益生線他道路整備工事（令和２年度）、履行場所は、桑名駅西地区。資料９ページをご覧ください。位置は、桑名駅西土地区画整理事業区域内で、図面中央の市道蛸塚益生線、他に桑名駅西口へのアクセス道路になる西口駅前線の道路整備でございます。資料８ページにお戻りください。履行期間は、令和２年１２月１日から令和３年３月２９日までですが、令和３年８月２５日まで延期を予定しています。予算額１億９７万３,０００円、設計額９,８５３万１,４００円、工事概要は、舗装工Ａ＝４,３７９㎡、排水構造物工Ｌ＝６９８ｍ、緑石工Ｌ＝３７５ｍ、管布設工Ｌ＝１２９ｍ、組立てマンホール工Ｎ＝３箇所、既設構造物撤去工一式、付帯工一箇所でございます。

概要につきましては以上でございます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

### 【事務局】

事務局の蒔田でございます。

続きまして、発注公告及び入札経過について説明いたします。

資料の１５ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、特定の土木工事業の許可業者であること、所在地は、市内までとし、経審点数は７３０点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の２分の１以上であること、同種工事施工実績は、平成１７年度以降、官公庁が発注した案件で土木一式工事の施工実績を有すること、技術者要件として、現場代理人及び監理技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、１６ページをご覧ください。

令和２年１１月１８日に開札を行いましたところ、６者から応札があり、６者全てが最低制限価格以上予定価格以内で応札し、６者全てが同額のため、くじにより株式会社伊藤工務店を落札候補者としました。

その後、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き８,１５５万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

【委員】

発注公告の予定価格が 9,853 万 1,400 円ですが、6 者が同額。これまでも積算システムを利用して設計することから、このような事例がありましたが、今回の抽出対象案件が 50 件程度でその半数くらいが同額でくじ引きになっています。この案件は代表なものとして抽出させていただきましたが、公平性の観点から言えばくじ引きでの落札候補差の決定は問題ないが、積算システムによって抽出したものがそのまま落札価格になり、そして抽選で決定ということになると、いわば業者間の競争原理が働かなかったり、業者それぞれが持つ技術力が発揮できなかつたりと、何かもう少し競争原理が働くような形にはできないのかと思い抽出させていただきました。発注者側からのご意見はどうでしょうか。

【桑名駅西整備事務所】

同額となる案件はこれまでもありますように、今回の工事につきましても一般的な工事ですので、公表されている単価等によりまして最低制限価格が算出でき、同額となったものです。

技術的な部分につきましては、業者は、歩掛り等を勉強していると思いますので、最低制限価格は単価や歩掛りが公表されていると勉強していれば算出できると思います。

【委員長】

同額となる案件は委員会において何回も審議しており、市から出ている情報により機械的に積算すれば最低制限価格が算出され、業者としては落札するためには、算出される最低制限価格ギリギリのところで応札してくる。そうすると結果として同額に揃ってしまうということが続いています。以前、最低制限価格が千円単位で切っているときには、もう少しバラバラだったところではありますが、万円単位になったことで、同額になっている傾向が強いようです。確かにくじ引きなので、談合等の可能性は排除されますので、その点では公平であると思いますが、この辺り競争原理がもう少し働くような方法、例えば予定価格が公表されていることにより、より最低制限価格が求めやすいということになっているようです。競争原理がもう少し働く方法を考えていただくために、例えば予定価格を公表しないといけないのであれば、別のところで議論しないといけないことですが、入札制度は一つの形が決まればずっと続いていくものではなく、その時その時に合わせたものを、試行錯誤しながら、良いものを求めて対応していくものではないかと思っております。何か対策がないか事務局の方でも検討していただけると良いと思います。

他にご質問ございませんか。

今お話しさせていただいた意見についても検討していただけると良いと思います。よろしくお願いします。

この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。では、この案件については終了いたします。

抽出事案 3 大山田東配水場電気設備更新工事



**【委員長】**

それでは次に第3案件「大山田東配水場電気設備更新工事」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

**【水道課】**

おはようございます。水道課長の加藤と申します。よろしくお願いいたします。

概要書をご覧ください。

件名は、大山田東配水場電気設備更新工事、履行場所は、桑名市藤が丘地内、履行期間は、令和2年10月12日から令和3年2月26日まで、予算額、税込み4,185万3,900円、設計額、税込み4,185万3,900円、工事概要は、市内各地へ水道水を供給するための配水施設の電気設備の更新工事で、履行場所は、次ページ位置図の大山田東配水場で、昭和63年に設置された電気設備の更新を行うものです。

概要書にお戻りください。本工事の詳細は、200V受電盤1面、受水ポンプ盤1面、計装盤1面、引込開閉器盤1面、県水流入弁1台でございます。

概要については以上でございます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

上下水道部企画総務課の亀永と申します。よろしくお願いいたします。

続きまして、発注公告及び入札経過について説明いたします。

資料の20ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。入札参加資格要件は、電気工事業の許可業者であること、所在地は、県内までとし、経審点数は、市内業者450点以上、準市内業者500点以上、県内業者550点以上、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上、同種工事施工実績は、平成17年度以降、官公庁が発注した案件で、建築電気設備工事を除く、上水道施設で電気設備及び電動流量調整弁の設置又は更新工事の施工実績を有すること、技術者要件として、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、4,000万円以上の下請契約を予定する場合は、主任技術者に代えて監理技術者を専任配置することし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、21ページをご覧ください。

令和2年9月29日に開札を行いましたところ、1者から応札があり、株式会社三重テクノを落札候補者とし、事後審査を行った結果、適格であったため当該業者を落札業者に決定し、税抜き3,427万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

**【委員長】**

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

**【委員】**

応札者が1者のみということで抽出いたしましたが、受電盤等はそれぞれいくら位するのですか。

【水道課】

各機器の設計上の単価でございますが、200V 受電盤 490 万円、受水ポンプ盤 1,110 万円、計装盤 506 万円、引込開閉器盤 39 万円、県水流入弁 410 万 2,000 円となっております。

【委員】

このような工事ができる業者は県内あるいは市内に 1 者しかないのか、又はなぜ 1 者しか応札がなかったのか理由を教えてください。

【水道課】

発注前に、今回の発注要件で調査したところ、市内で 1 者、県内で 5 者、合計 6 者が要件を満たす業者ということが確認できたことから、一般競争入札が適正であると判断し発注しました。

応札業者の少ない理由としましては、あくまでも憶測ですが公告日が 9 月ということで、繁忙期であり、各業者が既に別の案件を受注しており、技術者が不足していることから、応札を見合わせたと思われます。

【委員】

今回応札された株式会社三重テクノは、これまでも配水場関係の工事実績を何回か有しているのでしょうか。

【水道課】

ございます。

【委員長】

他にご意見、ご質問はありませんか。

では、特に問題ないようですので、この案件については問題なしとしてよろしいでしょうか。では、問題なしとします。

#### 抽出事案 4 西桑名幹線雨水管路施設工事（推進工）

【委員長】

それでは次に第 4 案件「西桑名幹線雨水管路施設工事（推進工）」について発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。

【下水道課】

下水道課の出口でございます。よろしくお願いいたします。

工事概要についてご説明いたします。

資料の 22 ページ概要書をご覧ください。

件名は、西桑名幹線雨水管路施設工事(推進工)、履行場所は、桑名市大字東方地内ほか、次ページ位置図の点線の箇所となります。履行期間は、令和 3 年 1 月 12 日から令和 4 年 12 月 9 日まで、今年度から令和 4 年までの債務負担行為にて施工するものです。予算額、税込み 6 億 3,000 万円、設計額、税込み 6 億 2,764 万 6,800 円、工事概要は、西桑名幹線雨水管路は、桑名駅西側一帯を中心とした、面積約 111 ヘクタールの計画区域における雨水を集水し、

揖斐川へ放流するポンプ場へ流下する延長約 2,100m の雨水管路で、平成 20 年度より着手し、令和元年度までに約 1,560m が完成いたしました。引き続き、本工事において、桑名駅西土地地区画整理事業区域内の幹線道路の市道蛸塚益生線の整備に合わせまして約 510m を整備するものであります。

工事概要の詳細は、雨水管区間延長（推進工）472.0m、雨水管推進工 463.0m、特殊マンホール工 2 箇所、立杭工、2 箇所、雨水函渠布設工（1800×1800）8.4m、雨水函渠布設工（1500×1500）27.0m、付帯工 1 式、仮設工 1 式でございます。

資料の 24 ページから 27 ページは工事図面でございます。

工事概要については以上でございます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過について説明いたします。

資料の 28 ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。低入札価格調査制度対象案件となります。

発注業種は、土木一式工事で、入札参加形態は 2 者結成による特定建設工事共同企業体とし、共同企業体の内、代表構成員の参加資格要件は、土木工事業の特定許可業者であること、経審点数は 1,200 点以上、所在地は、県内までとし、発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること、同種工事施工実績は、平成 17 年度以降、官公庁が発注した案件で中大口径推進工法の密閉型の工事实績を有すること、技術者要件として、現場代理人及び監理技術者の専任配置を求めています。

次に第 2 構成員の参加資格要件は、土木工事業の特定許可業者であること、経審点数は 730 点以上、所在地は、市内までとし、技術者要件として、主任技術者の専任配置を求めています。また、低入札価格で契約を締結する場合は、現場代理人及び監理技術者の他に監理技術者に求める資格を有する者を専任の技術者として 1 名追加配置することとし、また、特定建設工事共同企業体の構成の関する事項として、構成員数は 2 者とし、構成員の出資比率は最低 30% 以上、代表となる構成員は構成員のうちで出資比率が最大の者、協定方式は、国土交通省指導の甲型方式であることとし、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札の経過及び結果でございますが、31 ページをご覧ください。

この工事は、先に特定建設工事共同企業体としての参加資格を審査しました。合計 7 つの特定建設工事共同企業体から参加申請があり、内容を審査したところ、いずれも適格であり令和 2 年 12 月 1 日に開札をしたところ、浅沼・新成テック特定建設工事共同企業体が調査基準価格を下回る 4 億 9,760 万 8,000 円で応札し、本案件の最低入札価格であったことから、低入札価格調査を実施いたしました。調査の結果、当該事業者が各調査項目において特に問題なく適格であり、契約内容に適合した工事施工が可能と判断したことから、当該事業者を落札候補者とし、事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き 4 億 9,760 万 8,000 円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明についてご質問、ご意見等ございませんか。

【委員】

共同企業体に限定したのは、推進工でこれだけの工事实績がある業者が、市内にはなかったからということでしょうか。

【下水道課】

共同企業体で発注する工事が5億円以上という要件と推進工法ということで、市内大手の業者が有する高度な技術が必要ということから、共同企業体での発注を採用いたしました。

【委員】

5億円以上の工事は必ず共同企業体でなければいけないということですか。

【下水道課】

市の要綱では5億円以上の土木工事においては共同企業体で発注することができるとなっております、必ずではありません。

【委員長】

ご質問、ご意見などいかがでしょうか。

【委員】

共同企業体でするときに1者は市内業者を入れないといけないということですか。

【下水道課】

入れなければならないということではないのですが、発注要件を決めるにあたり、市内業者も共同企業体の構成員として受注できるように、第2構成員は市内業者を指定しました。

【委員】

この雨水管路施設工事は、前の道路工事に合わせてというお話をされたと思いますが、合わせて実施すると工期の短縮や工費の節約にもなるのかと思ったのですが、どのような配慮があるのでしょうか。

【下水道課】

道路工事と並行して実施することで道路工事の業者としては、道路予定地にある建物等が更地になってから工事ができるということで、下水道の工事に関しても並行してやることでメリットがあると考えています。

【委員】

両方を一緒にやることは良いと思いますが、メリットとして価格が安くなるとはあまり考えないのですか。

【下水道課】

施工時期や場所が同じではないので、別々で工事をするため、合算経費を採用するということはしておりません。

【委員】

共同企業体になっているので、道路工事も同時にやった方が効率も良いような気がしますが、いかがでしょうか。

【下水道課】

発注する所管や工事内容が異なるため、別々の発注になります。

【委員長】

ありがとうございました。ご意見、ご質問いかがでしょうか。

工事が何回も行われると、その間道路を通行止めにするという問題もあり、目に見えない損失があると思います。その辺りも工夫されながら発注されていると思いますが、この工事のように非常に大型の案件であれば、まとめてやることで圧縮できる経費があるのではないかと思います。

発注する所管が異なるから別々にやらざるを得ない、という理由ではなく、施工内容等の技術的な部分等で分けなければいけないという場合は仕方がないと思いますが、市民の生活上の利便性も含めたところの効率ということも配慮しながら、発注方法や時期について考えていただけると良いのではないかと思います。

他にご意見、ご質問ございませんか。

この案件については問題なしとします。

**抽出事案 5 橋梁長寿命化修繕設計積算業務委託（横手橋他）**

【委員長】

それでは次に第5案件「橋梁長寿命化修繕設計積算業務委託（横手橋他）」について発注担当課から工事概要の随意契約の理由を説明していただき、その後事務局から見積経過について説明をお願いいたします。

【土木課】

土木課の佐藤と申します。よろしくお願いいたします。

資料 32 ページをご覧ください。

件名は、橋梁長寿命化修繕設計積算業務委託（横手橋他）、履行場所は、長島町赤地地内他、履行期間は、令和2年11月2日から令和3年3月4日まで、予算額は、税込み949万4,800円、設計額は、税込み944万2,400円、工事概要は、修繕設計4橋、設計協議1式、工事積算業務4橋でございます。

次ページの位置図をご覧ください。上の大鳥居2号橋から下の横手橋までの4橋が対象です。

34ページの随意契約理由書ですが、本業務は橋梁点検結果をもとに策定された橋梁長寿命化修繕計画に基づく対象橋梁の修繕設計積算業務を実施するものであり、業務実施にあたっては橋梁に関する専門的な知識及び経験を要するものです。

公益財団法人三重県建設技術センターは、橋梁点検・健全度評価・修繕計画の策定・修繕計画・積算といった橋梁の長寿命化事業における一連の業務に関する経験・知識を有しており、円滑に業務を遂行・支援する体制が整備されています。

また、平成27年度から実施してきた橋梁点検業務や桑名市橋梁長寿命化修繕計画の策定にも携わっており、市管理橋梁の地域性による劣化状況を踏まえた修繕設計が期待できま

す。積算業務においては、官公庁以外では三重県自治体共同積算システムの利用ライセンスを有する唯一の機関でございます。

よって、公益財団法人三重県建設技術センターと関係法令の規定により随意契約を締結したものでございます。

説明は以上でございます。

**【事務局】**

続きまして、見積経過及び結果について説明いたします。

資料の 35 ページをご覧ください。

令和 2 年 10 月 27 日に見積り合わせを行い、指名業者の公益財団法人三重県建設技術センターから見積を徴しましたところ、予定価格の範囲以内でしたので、税抜き 772 万円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

**【委員長】**

ありがとうございました。

**【委員】**

随意契約の理由はわかりましたが、今回の修繕設計積算業務ができる業者は、県内ではここしかないのか。

また、三重県自治体共同積算システムの利用ライセンスを有する唯一の機関とありますが、官公庁以外でということですか。一般の企業、コンサル業者はライセンスを取得することができるのでしょうか。

**【土木課】**

設計積算業務については、設計業務は分離して発注することは可能かと考えますが、設計からそれに基づく積算というものが一連の業務ということから、業者としましては当該センターしかないのが現状です。

また、ライセンスにつきましては、現状では、一般の企業は取得することはできません。一般の企業が受注できないものに関して、当該センターが受注するという状況です。

**【委員】**

県内他の市町においても、同様の業務がある場合は、公益財団法人三重県建設技術センターと随意契約を結ぶということで、競争原理が働かない形で見積合わせをして予定価格以内なら契約をするということになるのでしょうか。

**【土木課】**

三重県以外にも建設技術センターは存在します。近隣の愛知県や岐阜県など。ただし、県内の業務について、同様業務やその他の災害等の事業に関しても、設計、積算については、ほとんどが公益財団法人三重県建設技術センターと随意契約しています。

**【委員】**

随意契約された理由はよくわかりましたが、公益財団法人三重県建設技術センターが他県に出ていくことや、他県が三重県に入ってくることもないと思いますし、公益財団法人ですから、このような方法で委託していれば、間違ったこともないと思います。しかし、一般競争入札で

執行することができず随意契約となりますと、競争原理が働かない中で、今後も橋を直す度にこの状況が続いていくことになりますので、公平性、公明性を担保するため、もう少し厳しく審査をする必要があるのではないかと考えます。

【委員長】

他にご意見、ご質問いかがでしょうか。

質問ですが、このような随意契約でここしかないと分かっている中の予定価格はどのように設定しているのですか。

【土木課】

参考見積をもらっています。

【委員長】

公益財団法人三重県建設技術センターに参考見積を依頼しているということでしょうか。

【土木課】

そうです。

【委員長】

同じところが出してきた参考価格に対して、それより低い価格を提示され、これなら良いでしょう。という形になっていることに違和感を覚えますが、例えば参考見積であれば、他の地域等に依頼することは考えられないのでしょうか。

【土木課】

ライセンス自体が県内でここしかないという状況で、ご指摘の中で県内での見積ということになると、今後、設計については分離発注が可能かどうか、また積算については、技術者の育成を含め、なるべく自前で積算することが望ましいと思いますが、橋梁の積算というものに関しましては、かなりの経験と技術が必要とされており、限られた人材の中で積算できる人材を持ち合わせていないのが現状です。

今後、透明性を確保する上で、ご指摘いただきましたように他県での見積等も検討したい。

【委員長】

ありがとうございました。他にご意見、ご質問ございませんか。

この案件については問題なしとします。

今いただきました意見等もふまえて検討していただけると良いと思います。よろしくお願いいたします。

以上を持ちまして抽出案件の審議を終了いたします。

次回の審議案件の抽出は、順番により私が出させていただきます。

### (3) その他

【委員長】

それでは(3)「その他」ですが委員の皆様何かございますか。

事務局から何かありますか。

【事務局】

特にございません。

### 3 閉 会

#### 【委員長】

ありがとうございました。それでは令和2年度第3回桑名市入札監視委員会を終了させていただきます。なお、本日の審議概要は後日、事務局でまとめさせていただきたいと思っています。本日はありがとうございました。